

児童生徒への性暴力防止のために

～ その行為が人生を壊します ～



令和7年10月

作成：警察庁生活安全局

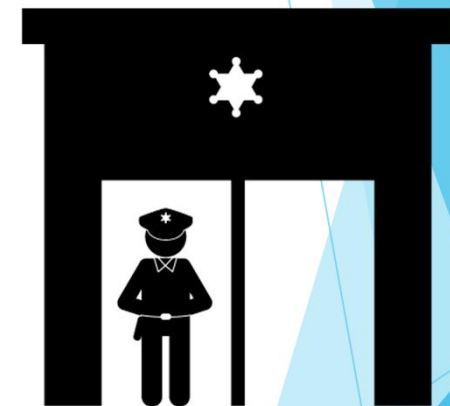
協力：文部科学省初等中等教育局

児童生徒への性暴力は必ず発覚する

「児童生徒の盗撮」、「わいせつな行為」、「児童買春」等の行為は必ず警察に認知されます

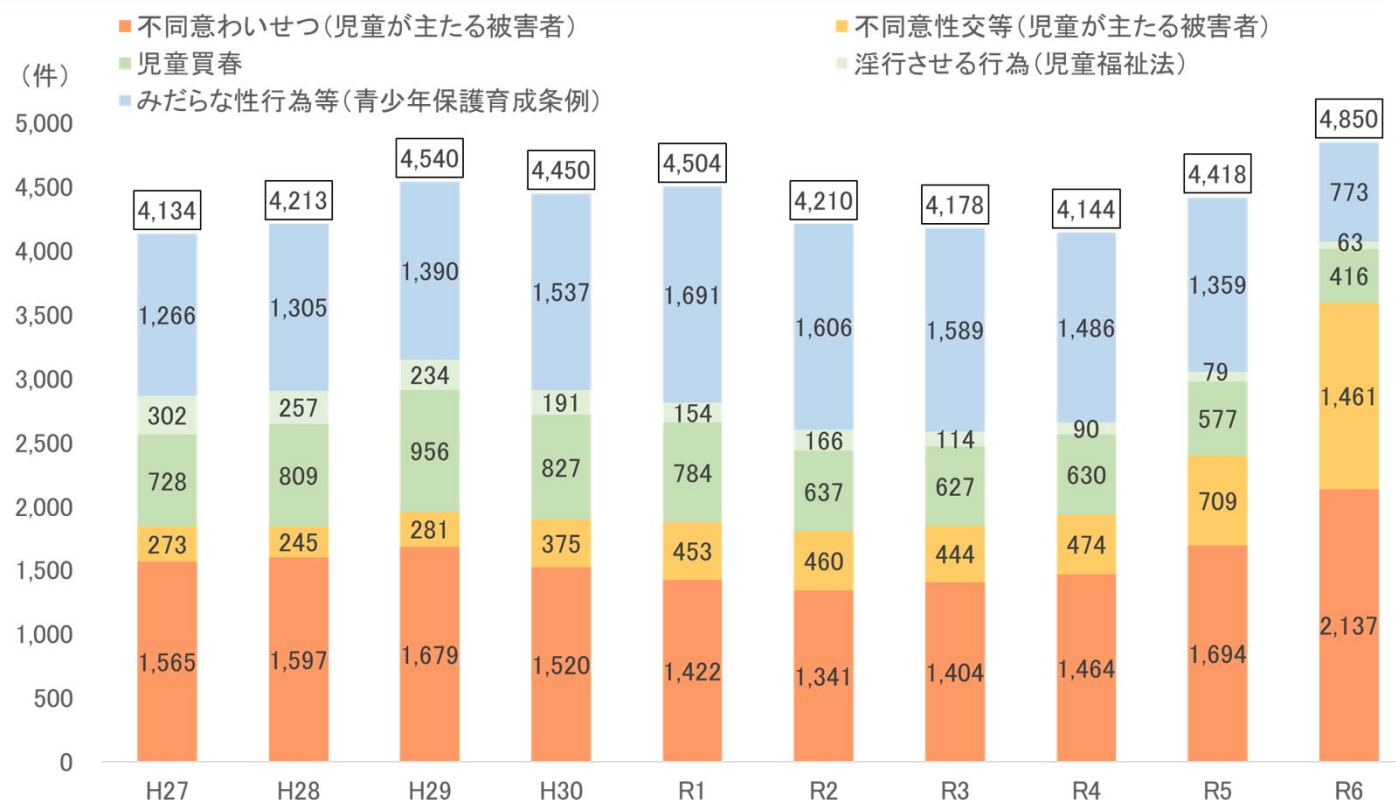
- 児童生徒自身、保護者、学校からの相談・通報
- 他の教師が不信な行動に気付いて通報
- 警察によるサイバーパトロールや補導活動、他事件からの関連発覚

認知→捜査開始



「バレない」と思っても、実際には様々な経路から警察に認知され、必ず捕まる
これらの行為は繰り返される傾向が強く、隠し通すことは不可能

児童買春事犯等の検挙件数



※ 不同意わいせつ及び不同意性交等は、令和5年7月12日以前は強制わいせつ及び強制性交等であり、単純に令和5年以前とその件数を比較できない。

※ 件数は、被疑者の行為数によるところ、刑法第54条第1項前段(観念的競合)に該当し、刑法犯と特別法犯が競合する場合は各別に計上

児童買春事犯等の検挙件数は、不同意性交等及び不同意わいせつが近年増加傾向にあり、その結果、令和6年は2年連続増加し、過去10年で最多

一時の感情や誤った判断によって...

【被害者】

- ・ つらい記憶が頭から離れない
- ・ 自己評価が低下してしまう
- ・ 被害がトラウマとなり、めまいや過呼吸を起こしてしまう
- ・ 人が怖くて外に出られず、自宅に引きこもる
- ・ 自傷行為をしてしまう

【被疑者】

- ・ 逮捕・起訴され、有罪判決を受ける
- ・ 懲戒免職処分を受け、職を失う
- ・ 教員免許が失効する（返納が必要）
- ・ こどもと接する業務に就けなくなる
- ・ ウェブに実名や顔写真が掲載され、広く社会に知られてしまう

【被疑者の家族】

- ・ 被疑者の家族としてSNS等にて誹謗中傷される
- ・ 引っ越しや転校、転職を余儀なくされる
- ・ 不安や羞恥心を抱えながら生きていくことになる
- ・ 安定した収入がなくなることで経済的に困窮する



教員性暴力等防止法¹

(令和3年法律第57号)

児童生徒の同意の有無に関わらず、児童生徒性暴力等（性交等、児童ポルノ、痴漢、盗撮等）は禁止。原則**懲戒免職**

【概要】児童生徒の尊厳を保持するため、教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策を推進し、児童生徒等の権利利益の擁護に資することを目的とした法律

「児童生徒等」

- ①学校に在籍する幼児、児童または生徒
- ②18歳未満の者

「児童生徒性暴力等」

- ①児童生徒等に性交等を行うことまたは性交等をさせること
- ②児童生徒等にわいせつ行為を行うことまたはわいせつ行為をさせること
- ③刑法182条（面会要求、自撮り要求）、児童ポルノ法、性的姿態撮影等処罰法違反の行為を行うこと
- ④痴漢行為または盗撮行為を行うこと
- ⑤児童生徒等に対する悪質なセクハラを行うこと

※刑事罰の対象とならない行為も含まれる

※児童生徒等の同意の有無は問わない

¹ 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律

こども性暴力防止法²

(令和6年法律第69号)

こどもと接する業務に就く人に特定性犯罪（不同意性交等、児童ポルノ、痴漢、盗撮等）の前科がないかを確認

【概要】 児童等に教育、保育等を提供する事業者に対し、従事者による児童対象性暴力等を防止する措置を講じること等を義務付け、もって児童生徒等の心身の健全な発達に寄与することを目的とした法律

「安全確保措置」

見守りや面談による早期把握、相談体制の整備、被害が疑われる場合の調査・保護、従事者への研修、**特定性犯罪前科の有無の確認（※採用時や現職者も定期的に確認）**

これらの事情を踏まえ、従事者による児童対象性暴力等が行われるおそれがあると認められる場合は、**教育、保育等の業務に従事させないなどの児童対象性暴力等の防止のための措置を講じなければならない**

「特定性犯罪」

不同意性交等、不同意わいせつ、児童買春、児童ポルノの所持、製造等
盗撮、各都道府県の条例で定める痴漢、淫行 等

² 学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律

児童買春、児童ポルノ禁止法³

(平成11年法律第52号)

18歳未満の児童と性的な行為をすれば「児童買春」として**処罰**され、児童のわいせつ画像や動画は「児童ポルノ」として**処罰**されます

【概要】 児童買春や児童ポルノの製造・所持・提供などに係る行為等を処罰

「児童買春」

- ・ 児童に対し、対償⁴を渡す、または渡す約束をした上で性交等⁵をすること
- ・ 児童買春をした者は**5年以下の拘禁または300万円以下の罰金**

「児童ポルノ」

- ・ 性交等をする児童の姿態や、衣服の全部または一部をつけずに性的な部分を強調し、性欲を刺激する児童の姿態⁶を描写した写真や電磁的記録媒体等のこと
- ・ 児童ポルノを製造した者は**3年以下の拘禁または300万円以下の罰金**
- ・ 自己の性的好奇心を満たす目的で児童ポルノを所持した者は**1年以下の拘禁または100万円以下の罰金**
- ・ 児童ポルノを不特定または多数の者（運用上は2人以上）に提供した者は**5年以下の拘禁または500万円以下の罰金**

³ 児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護に関する法律

⁴ 金銭や物品、食事など

⁵ 児童買春、児童ポルノ禁止法における「性交等」とは、性交もしくは性交類似行為（性交を模して行われる手淫、口淫行為等）をし、また自己の性的好奇心を満たす目的で児童の性器等を触り、もしくは児童に自己の性器等を触らせることを指す

⁶ 制服や部活動のウェア、水着等の衣服を着用していても、性的な部分を強調し性欲を刺激するような描写になっていれば児童ポルノにあたる

性的姿態撮影等処罰法⁷

(令和5年法律第67号)

児童の性的な姿を撮影したり送信したりすると、**処罰**されます
特に16歳未満にあっては**同意があっても処罰**されます

【概要】人の性的な姿態⁸を相手の同意なく撮影したり、保管したり、不特定または多数の者（2人以上）に対して送信したりすることを処罰

- ・撮影した者は**3年以下の拘禁または300万円以下の罰金**
- ・保管した者は**2年以下の拘禁または200万円以下の罰金**
- ・不特定または多数の者に送信した者は**5年以下の拘禁または500万円以下の罰金**

※**13歳未満**の者に対して性的な姿態を撮影、記録、送信等した場合、同意の有無に関わらず処罰

※**13歳以上16歳未満**の者に対して性的な姿態を撮影、記録、送信等した場合、行為者との年齢差が5歳以上あると同意の有無に関わらず処罰

⁷ 性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に記録された性的な姿態の映像に係る電磁的記録の消去等に関する法律

⁸ 性的な姿態とは、人の性的な部位、人が身につけている下着のうち現に性的な部位を覆っている部分、または、わいせつな行為や性交等がされている間における人の姿態のことを指す



刑法（不同意わいせつ罪、不同意性交等罪）

（明治40年法律第45号）

1/2

児童に対してわいせつな行為や性交等をする**と処罰**されます
特に16歳未満にあつては**同意があつても処罰**されます
教師と児童生徒の関係において、「自由な意思による同意」は成立がしにくい

【概要】以下の1. または2. によって、

- わいせつな行為をした場合、**不同意わいせつ罪（176条）**【6か月以上10年以下の拘禁】
- 性交等⁹をした場合、**不同意性交等罪（177条）**【5年以上の拘禁】

1. ①～⑧のいずれかを原因として、

同意しない意思を形成、表明または全うすることが困難な状態にさせること、あるいは相手がそのような状態にあることに乗じること

- ① 暴行または脅迫
- ② 心身の障害
- ③ アルコールまたは薬物の影響
- ④ 睡眠その他の意識不明瞭
- ⑤ 同意しない意思を形成、表明または全うするいとまの不存在
- ⑥ 予想と異なる事態との直面に起因する恐怖または驚愕
- ⑦ 虐待に起因する心理的反応
- ⑧ 経済的または社会的関係上の地位に基づく影響力による不利益の憂慮

2. わいせつな行為でないと誤信させたり、人違いをさせること、または相手がそのような誤信をしていることに乗じること

⁹ 性的姿態撮影等処罰法、不同意性交等における「性交等」とは、性交、肛門性交、口腔性交または膣若しくは肛門に身体の一部若しくは物を挿入する行為を指す

刑法（不同意わいせつ罪、不同意性交等罪）

(明治40年法律第45号)

2/2

- ※**13歳未満**の者に対してわいせつな行為や性交等を行った場合、同意の有無にかかわらず処罰
- ※**13歳以上16歳未満**の者に対してわいせつな行為や性交等を行った場合、行為者との年齢差が5歳以上あると同意の有無に関わらず処罰
- ※**教師と児童生徒の関係においては、立場ゆえの影響力によって、児童生徒側が不利益を生じることを不安に思うおそれがあることから、自由な意思による同意は成立しにくく、同意があったと認識していたとしても不同意わいせつや不同意性交等として処罰される可能性あり**
- ※**不同意わいせつ及び不同意性交等は、殺人、強盗、放火、略取誘拐、人身売買と並ぶ重要犯罪**

刑法（面会要求等）

（明治40年法律第45号）

16歳未満の児童にわいせつな目的で会おうとしたり、裸の写真や動画を送らせようと要求したりするだけで犯罪となり、それだけで**処罰**されます

【概要】

○面会要求（182条1項・2項）

わいせつの目的で、16歳未満の者に対して、偽計や威迫、強制の手段を用いたり、金銭を交付することを約束して面会を求めることを処罰

面会を要求した場合、**1年以下の拘禁または50万円以下の罰金**

実際に面会した場合、**2年以下の拘禁または100万円以下の罰金**

○映像送信要求（182条3項）

16歳未満の者に対して、性交等をする姿や性的な部位を露出した姿などの写真や動画を送るように要求することを処罰

送信を要求した場合、**1年以下の拘禁または50万円以下の罰金**

※**13歳以上16歳未満**の者に対する行為については、行為者との年齢差が5歳以上ある場合に処罰

児童福祉法（児童に淫行をさせる行為）

（昭和22年法律第164号）

教師という立場を利用して、18歳未満の児童に対して性交等の性的な行為をすれば、**処罰**されます

【概要】

○児童に淫行をさせる行為（34条1項6号）

児童に対して事実上の影響力を及ぼして児童に淫行させる行為を処罰

【10年以下の拘禁または300万円以下の罰金】

※事実上の影響力とは、雇用、身分、その他の支配関係のことをいい、教師やスポーツコーチと教え子、児童養護施設の職員と入所児童などがこれに該当

※ここでの淫行とは、性交のほか、性交類似行為（性交を模して行われる手淫、口淫行為等）を含む

青少年保護育成条例

18歳未満の青少年に対する淫行やわいせつ行為は、各自治体の青少年保護育成条例で禁止されており、違反すれば**拘禁や罰金**などの処罰を受けます

【概要】

青少年の保護や健全な育成、そしてその環境整備を目的として各地方公共団体が制定している条例の総称

内容についてはそれぞれの条例で多少異なるものの、おおよそ青少年に対する淫行やわいせつ行為、深夜同伴を禁止する条文あり

違反行為があれば**刑事罰の対象**

※例）東京都（東京都青少年の健全な育成に関する条例）

青少年に対する淫行を行った者は、**2年以下の拘禁または100万円以下の罰金**

青少年を深夜に連れ出し、同伴した者は、**30万円以下の罰金**



迷惑防止条例

下着等を撮影しようとカメラやスマートフォンを差し向けるだけでも、各自治体の迷惑防止条例で禁止されており、違反すれば**拘禁や罰金**などの処罰を受けます

【概要】

公衆に著しく迷惑をかける行為等を防止し、生活の平穏を保持することを目的として各地方公共団体が制定している条例の総称

内容についてはそれぞれの条例で多少異なるものの、おおよそ下着等を撮影する目的でカメラを差し向ける行為を禁止する条文あり

違反行為があれば**刑事罰の対象**

※例）東京都（公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例）

下着等を撮影する目的でカメラを差し向けた者は、**1年以下の拘禁または100万円以下の罰金**

常習として上記違反行為を行った者は、**2年以下の拘禁または100万円以下の罰金**